



昭和40年頃の有明海

写真 安永真一氏(故人) 提供 野田律子氏

開催日：2009年5月23日（土）

会場：佐賀大学本庄キャンパス理工学部6号館
1階都市工学科大講義室

9:00～ 受付

9:30 主催者挨拶

9:40～12:30 コア研究1 成果発表



佐賀大学
有明海
総合研究
プロジェクト

◎環境物質動態研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海・諫早湾における底泥の再懸濁・沈降に関するマッピング
- ・有明海底質細胞外ポリマーの底質安定化への効果に関するレオロジー解析
- ・有明海湾奥部干潟域のベントス群集

原田浩幸
山本浩一
原田浩幸
吉野健児

◎干潟底質環境研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・Landsat-5号TMによる有明海の海面濁度分布の観測
- ・佐賀県沿岸域における覆砂の効果と持続性について
- ・夏季の有明海水中の鉄の濃度変化とプランクトン発生

田端正明
瀬口昌洋・郡山益実・申 龍熙
原口智和・加藤 治・鶴丸雅之・瀬口昌洋・郡山益実
田端正明・Abdull Ghaffar・保見真悟

－休憩－

◎環境モデル研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海流入陸域モデルの構築に関する検討
- ・有明海を対象とした懸濁物モデルの構築とその成果
- ・有明海奥部における物質輸送と低次生態系の動態について－4年目の成果－

速水祐一
大串浩一郎
濱田孝治
速水祐一

－昼食－

13:30～14:20 ポスターセッション（2階多目的セミナー室）

14:30～15:50 コア研究2 成果発表

◎微生物相研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・*Vibrio vulnificus*に感染するバクテリオファージの検索
- ・有明海における微生物相解析

神田康三
神田康三
小林元太

◎食水系感染症研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－臨床医学的アプローチ（第四報）－
- ・ビブリオ・バルニフィカス感染症対策－基礎医学的アプローチ（第四報）－
- ・壊死性筋膜炎症例に対するPMX-DHP療法について

中島幹夫
中島幹夫
大石浩隆
松本浩一

15:50～16:30 コア研究3 成果発表

◎地域文化・経済研究部門

- ・部門全体の成果概要説明
- ・有明海から出かけた朝鮮海出漁(予報)：実態と有明海漁撈技術の影響と伝播
- ・有明海沿岸漁民の環境利用とその認識

山下宗利
武田 淳
藤永 豪

16:30 閉会の辞

平成20年度有明海総合研究プロジェクト
成果報告会ポスター一覧

H21.5.23

| コア | 部門 | 演題番号 | 発表者(筆頭者) | 演題 |
|----|-------------|------|-----------------|--|
| 1 | 環境物質動態研究部門 | 1 | 天野佳正 | 有明海における海苔由来の細胞外ポリマーが水質・底質に与える影響 |
| | | 2 | 横山勝英 | 筑後河川感潮河川における高濁度水塊の横断分布とSSの沈降に関する研究 |
| | 干潟底質環境研究部門 | 3 | 西本潤 | 海岸及び川岸の泥と河川水における重金属の分布 |
| | | 4 | 田端正明 | 2008年夏季の有明海水中の鉄の濃度変化とプランクトン発生 |
| | | 5 | 郡山益実 | 有明海奥部泥質干潟～浅海域底泥における窒素・リンの季節変動 |
| | | 6 | Alim Isnansetyo | Potential Nitrification of Mud Sediment of Ariake Sea and Effect of Environmental Parameters on its Nitrification Rate |
| | 環境モデル研究部門 | 7 | 吉田誠 | 有明海奥部における2008年夏季のシャットネラ赤潮とその競合種の動向 |
| | | 8 | 山口創一 | 数値生態系モデルによる有明海貧酸素水塊の再現性について |
| | | 9 | 平川隆一 | 有明海湾奥部に流入する河川の感潮域における流れと土砂動態に関する現地調査 |
| | | 10 | 片野俊也 | 赤潮原因藻類シャットネラの固定方法の検討およびそれを用いた日周鉛直移動の調査 |
| 2 | 微生物相研究部門 | 11 | 田中重光 | 有明海由来Vibrio vulnificusの分子生物学的性状解析 |
| | 食水系感染症研究部門 | 12 | 三溝慎次 | 佐賀大学医学部附属病院における壊死性筋膜炎55例の検討 |
| | | 13 | 草場耕二 | Loop-mediated Isothermal Amplification(LAMP)法を利用したビブリオバルニフィカス検出法の検討(第一報) |
| 3 | 地域文化・経済研究部門 | 14 | 山下宗利 | ノリ養殖の協業化の現状と課題—佐賀県鹿島市を事例に— |
| | | 15 | 樫澤秀木 | 『諫早湾総合防災干拓事業』とは何か |
| | | 16 | 五十嵐勉 | 有明海・八代海沿岸域エコトーンにおける文化的景観の保全(4)—有明干拓地におけるレンコン堀の冬季湛水機能— |